MASPRO

屋外用 UHFアンテナ（家庭用）

UHF ANTENNA
UHF ch.13 ～ 62
U2SWL24



取扱説明書

保証書付

75Ω用（F型端子）

水平・垂直偏波用

中・弱電界地域用

●電波の弱い場所では受信できません。
●障害物があり、見通しの悪い場所では受信できないことがあります。



●本機には、接続ケーブルを付属していません。設置場所に応じて、必要な長さの75Ωケーブルをお買求めください。
●地上デジタル放送を視聴するには、地上デジタル放送用受信機が別途必要になります。

MASter of PROduction 生産の覇者

目次

ページ

付属品

防水キャップ ………… 1個
F型コネクター（5Cケーブル用） ……… 1個
レンチ（10、17mm） ………… 1個

正しく安全にお使いいただくために、ご使用の前に、この「取扱説明書」をよくお読みください。
この「取扱説明書」はいつでも見ることができる場所に保管してください。

DHマーク（デジタルハイビジョン受信マーク）は、（社）電子情報技術産業協会で審査・登録された一定以上の性能を有する衛星アンテナ、UHFアンテナ、受信システム機器に付与されるシンボルマークです。

必ずお読みください　安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みください。

絵表示について

この「取扱説明書」には、製品を安全に正しくご使用いただき、ご使用になる方や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示がしてあります。その表示と意味は次のとおりです。

 **警告**	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 **注意**	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および、物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

	△ 記号は、注意（警告を含む）が必要な内容があることを示しています。 図の中に注意内容（左図の場合、警告または注意）が描かれています。
	⃠ 記号は、禁止の行為を示しています。 図の中や近くに禁止内容（左図の場合、接触禁止）が描かれています。



警告

	●雷が鳴出したら、アンテナ・ケーブルには触れないでください。感電の原因となります。
	●アンテナを包装しているポリ袋は、お子様の手の届くところに置かないでください。頭からかぶると窒息し、死亡の原因となります。



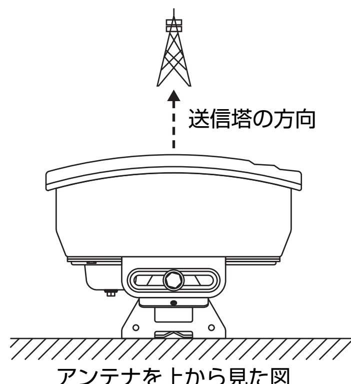
注意

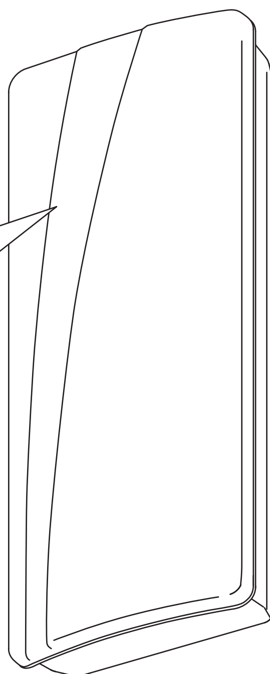
	●雨降り・強風など、天候の悪い日の屋外での取付作業は非常に危険ですから、絶対にしないでください。また、夏の炎天下では、屋根が非常に熱くなっていますから注意してください。 ●腐食が進んで劣化した取付金具をそのまま使用しないでください。落下して、人や物などに損害や危害を与える原因となることがあります。アンテナや取付金具は、定期的に点検してください。
	●アンテナを高所に設置する場合、技術と経験が必要ですから、必ず購入店にご相談ください。 ●壁面に取付ける場合、壁面の強度がわかる工務店に必ずご相談ください。 ●高所に取付ける場合、アンテナやアンテナ部品の落下などによって、人や物などに危害や損害を与えたりすることがないように、安全な場所を選んで設置してください。 ●アンテナの取付工事を行うときは、落下防止のため、ネットを張ったり、アンテナや取付金具・工具などをヒモで固定物に結んだりするなど、安全対策をしてから作業してください。 ●アンテナの取付作業は、必ず2人以上で行なってください。 ●高所での作業は非常に危険です。万全の安全対策をして取付けてください。また、屋根に登ると、思ったより高く感じられ、足場も不安定です。滑らないように、充分気をつけて作業してください。
	●アンテナ・取付金具・マストなどに異常があったり、ビスやボルトなどがゆるんだりしていないか、定期的に点検してください。また、台風や大雪などの後は、安全を確保してから、アンテナ・取付金具・マストなどを必ず点検してください。アンテナが破損・変形した場合、新しいものと交換してください。そのままにしておくと、アンテナや取付金具などの部品が、破損、落下して、けがの原因や建造物に損害を与える原因となることがあります。 ●感電防止のため、アンテナは電線（電灯線・高圧線・電話線など）からできるだけ離れた場所に設置してください。 ●テレビやチューナーからの75Ωケーブルをアンテナへ接続するときは、テレビやチューナーのACプラグをACコンセントから抜いて作業を行なってください。ACプラグをACコンセントに接続したままケーブルの接続作業をすると、使用しているテレビやチューナーによっては、感電の原因となることがあります。

各部の名称と機能

前面

●前面で地上デジタル放送を受信します。
●この面を送信塔のある方向に向けて設置してください。





背面

マスト固定ボルト

マスト固定金具

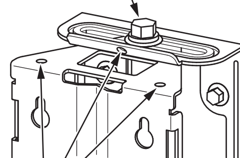
壁面取付金具

本体金具

出力端子固定ボルト
●垂直偏波を受信するときは、このボルトをゆるめて、出力端子の向きを90°変えます。
●p.5「**垂直偏波を受信する場合**」をご覧ください。

地上デジタル出力端子
(F型コネクター)

方向固定ボルト



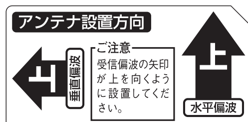
落下防止用ヒモ取付孔

垂直偏波受信用
本体金具取付位置
●出荷時は、水平偏波を受信するときの金具位置になっています。垂直偏波を受信するときは、本体金具をこの位置に付換えてください。
●p.5「**垂直偏波を受信する場合**」をご覧ください。

水抜き孔(垂直偏波受信用)

ご注意
●垂直偏波受信のとき、この2つの水抜き孔が、必ず下側になるように設置してください。
●テープなどでふさがないでください。雨水がたまり、故障の原因となります。

設置方向表示ラベル
受信偏波に合わせて、ラベルに記載の矢印の向きが上になるよう設置してください。



水抜き孔(水平偏波受信用)

ご注意
●水平偏波受信のとき、この2つの水抜き孔が、必ず下側になるように設置してください。
●テープなどでふさがないでください。雨水がたまり、故障の原因となります。

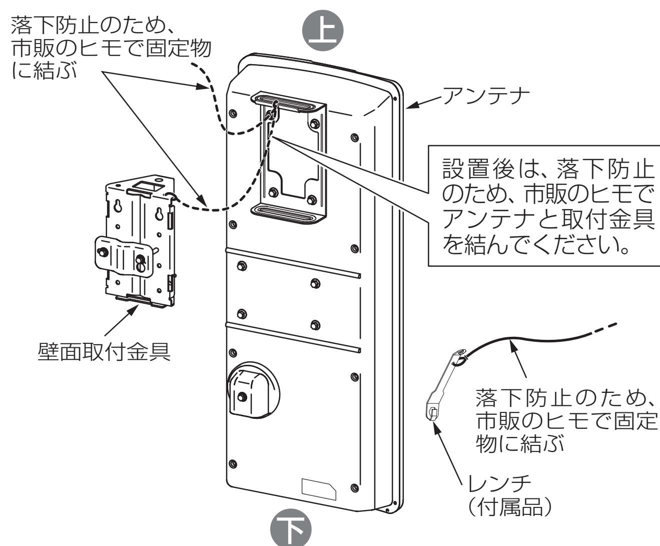
設置・配線例

⚠ 注意

- アンテナの取付工事を行うときは、落下防止のため、ネットを張ったり、アンテナや取付金具･工具などをヒモで固定物に結んだりするなど、安全対策をしてから作業してください。
- アンテナの取付作業は、必ず2人以上で行なってください。

アンテナの取付方向について

アンテナは、p.5「**アンテナを受信偏波に合わせる**」とp.6、7「**アンテナを設置する**」の説明にしたがって、正しく取付けてください。
アンテナを上下逆に取付けると、内部に雨水がたまり、故障の原因となることがあります。本体背面の設置方向表示ラベルを確認し、正しく取付けてください。

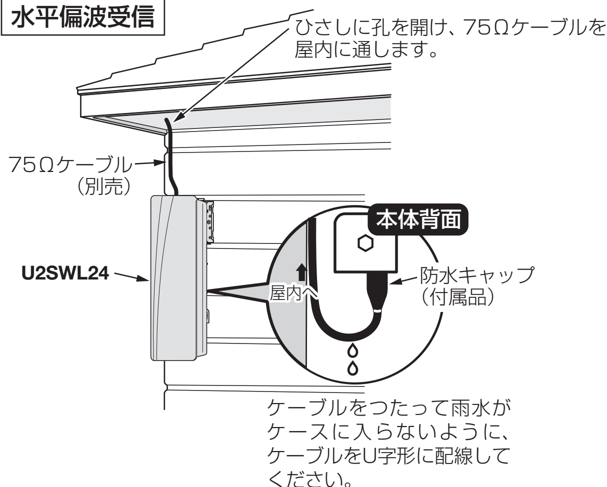


設置場所に応じて、別売の必要な長さの75Ωケーブルをご用意ください。

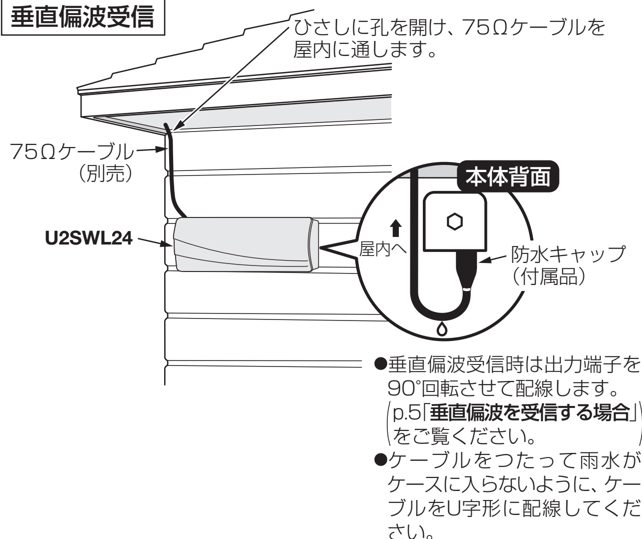
- 送信塔のある方向に向けて設置します。
  （設置はp.6、7「**アンテナを設置する**」、方向調整はp.10「**アンテナの方向を調整する**」をご覧ください）
- ひさしや壁面に孔を開けたくない場合、屋内引き込み口やエアコン配管用の孔などから、75Ωケーブルを屋内に引き込みます。孔がないときは、別売のすき間用接続ケーブル**STC5-P**を使って引き込んでください。

壁面設置例

水平偏波受信

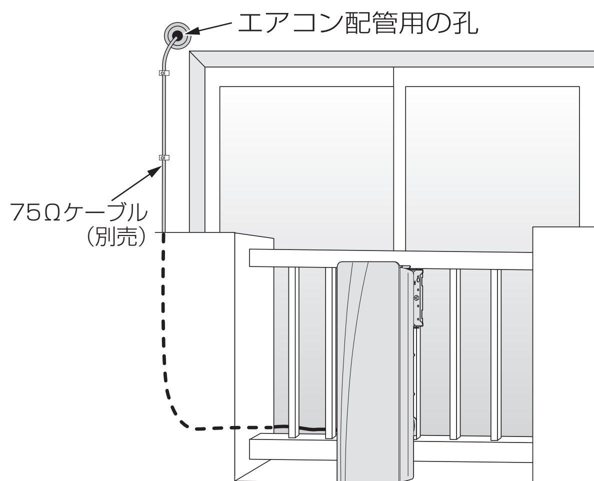


垂直偏波受信



- 垂直偏波受信時は出力端子を90°回転させて配線します。
  （p.5「**垂直偏波を受信する場合**」をご覧ください。）
- ケーブルをつたって雨水がケースに入らないように、ケーブルをU字形に配線してください。

ベランダ設置例



ケーブル引き込み用の孔がないとき

すき間用接続ケーブル
STC5-P（別売）



アンテナを受信偏波に合わせる

お住まいの地域の地上デジタル放送の受信偏波が分からないときは、アンテナを購入された販売店におたずねください。

水平偏波を受信する場合

本体金具は出荷時のまま使用して設置します。 設置方法は、p.6、7「**アンテナを設置する**」をご覧ください。

垂直偏波を受信する場合

取付·取外しには付属のレンチが必要です。

最初に本体金具の向きを変えます。

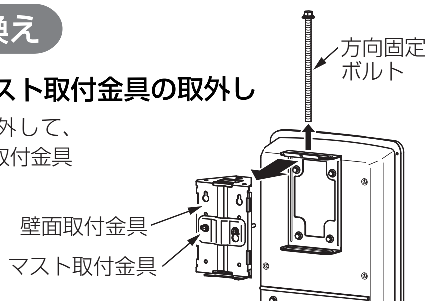
ご注意

- 壁面·ベランダ設置時のアンテナ方向調整範囲は左右15°です。
- 設置前に送信塔の方向を確認してください。
- 方向調整範囲が広い、マスト設置による受信をおすすめします。
- 出力端子は、必ず90°回転させて、ケーブルが鉛直方向に引き出せるようにしてください。水平方向のままにしておくと、ケーブルに雨水が浸入して、故障の原因となります。

本体金具の付換え

①壁面取付金具·マスト取付金具の取外し

方向固定ボルトを取外して、壁面取付金具·マスト取付金具を取外します。

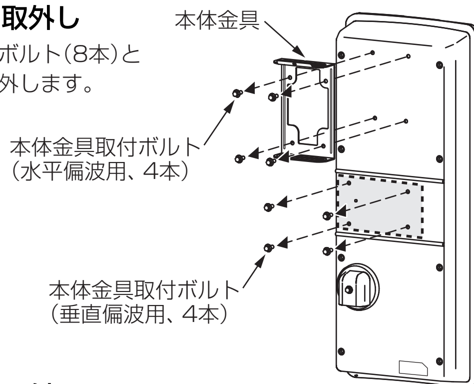


ご注意

アンテナ本体を地面などに置くときは、アンテナに傷が付かないように、シートなどを敷いてください。

②本体金具の取外し

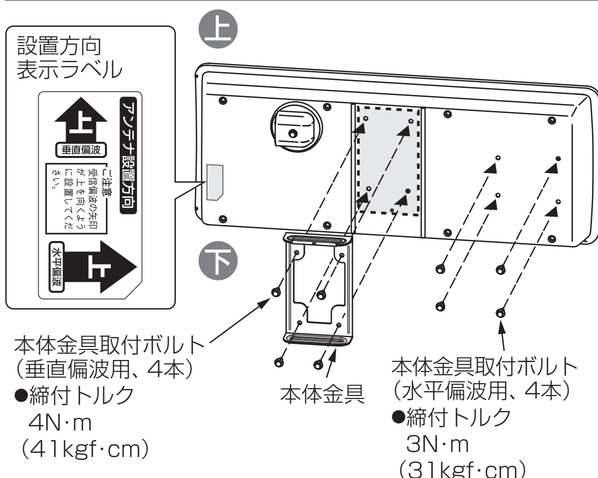
本体金具取付ボルト(8本)と本体金具を取外します。



③本体金具の取付け

ご注意

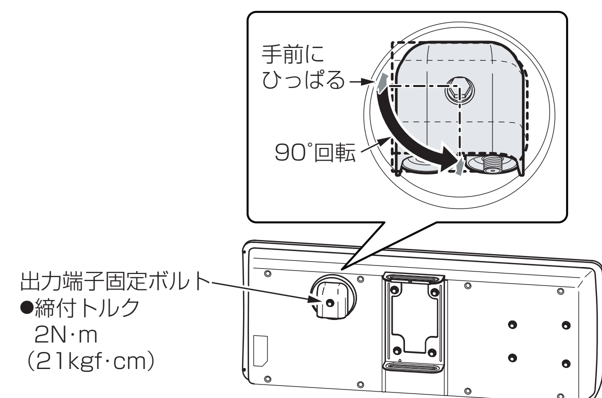
- 設置方向表示ラベルにしたがって、アンテナ本体の上下を正しく設置してください。
- 取外した本体金具取付ボルト(8本)は、必ず本体に取付けてください。内部に雨水が浸入して、故障の原因となります。



④出力端子部の回転

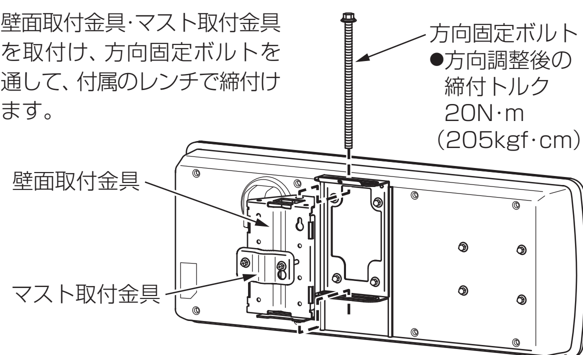
ⓐ出力端子固定ボルトをゆるめ、出力端子部を手前にひっぱりながら90°回転させます。

ⓑ出力端子固定ボルトを指定のトルクで締付けます。



⑤金具の取付け

壁面取付金具·マスト取付金具を取付け、方向固定ボルトを通して、付属のレンチで締付けます。



設置方法は、p.6、7「**アンテナを設置する**」をご覧ください。

アンテナを設置する

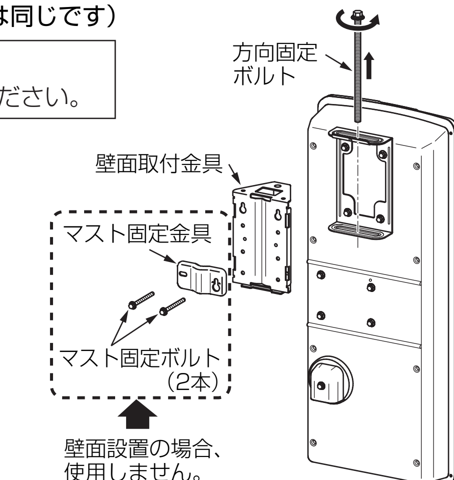
壁面設置



- ●壁面に取付ける場合、壁面の強度がわかる工務店に、必ずご相談ください。
- ●アンテナの取付工事を行うときは、落下防止のため、ネットを張ったり、アンテナや取付金具·工具などをヒモで固定物に結んだりするなど、安全対策をしてから作業してください。
- ●アンテナの取付作業は、必ず2人以上で行なってください。

水平偏波を受信する場合（垂直偏波を受信するときも、金具の向き、取付方法は同じです）

- ●取付けには、⊕ドライバーと付属のレンチが必要です。
- ●取付ける壁面に合わせて、市販の木ネジやコンクリートアンカーをご用意ください。



取付け前のご注意

- ●壁面に取付ける場合、一度取付けると壁面に穴が開きます。事前に設置場所の付近で受信できることを確認してから、取付けてください。
- ●壁面に壁面取付金具設置後、方向固定ボルトで、壁面取付金具とアンテナ本体を組付けます。
- ●組付可能なスペース（本体上面から30cm以上の空間）があることを確認してから取付けてください。

ご注意

アンテナ本体を地面などに置くときは、アンテナに傷が付かないように、シートなどを敷いてください。

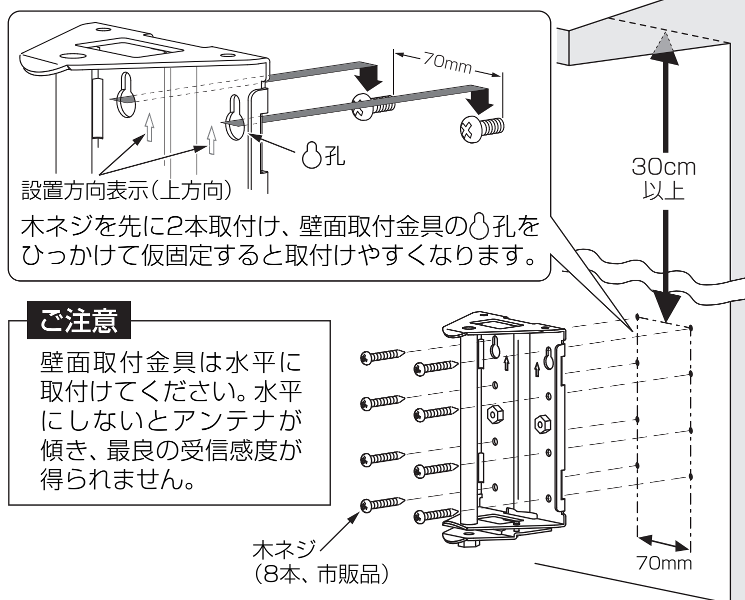
1. 金具の取外し

①マスト固定ボルト（2本）と、マスト固定金具を取外します。
（マスト固定ボルトとマスト固定金具は使用しません）

②付属のレンチで方向固定ボルトをゆるめ、アンテナ本体の孔から取外して、壁面取付金具を取外します。

2. 壁面取付金具の取付け

市販の直径5.1mmの木ネジ（8本）で板壁面に取付けます。

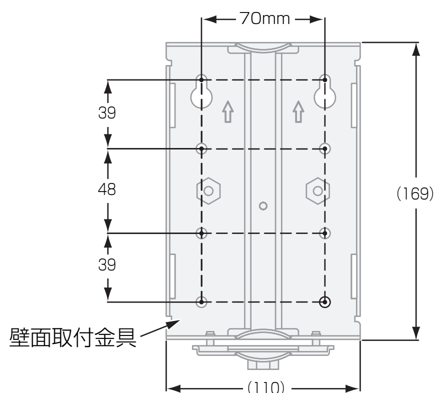


ご注意

壁面取付金具は水平に取付けてください。水平にしないとアンテナが傾き、最良の受信感度が得られません。

コンクリート製の壁面に取付ける場合

市販のコンクリートアンカーを下図の位置（8か所）に取付けてください。



（　）内の値は壁面取付金具の外形寸法です。

3. アンテナ本体の取付け

①アンテナ本体を壁面取付金具にはめます。

②方向固定ボルトを壁面取付金具の孔に通し、付属のレンチで締付けます。

方向固定ボルト
●方向調整後の締付トルク
20N·m
（205kgf·cm）

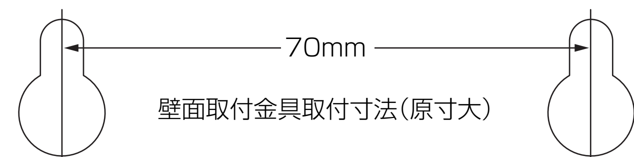
アンテナ本体

壁面取付金具

アンテナの設置が完了したら、p.8「**ケーブルにF型コネクターを取付ける**」、「**アンテナにケーブルを接続する**」を行なってください。

ご注意

壁面取付金具の下部にあるビス（2本）は絶対に締付けないでください。アンテナ本体の金具がはまらなくなります。



壁面取付金具取付寸法（原寸大）

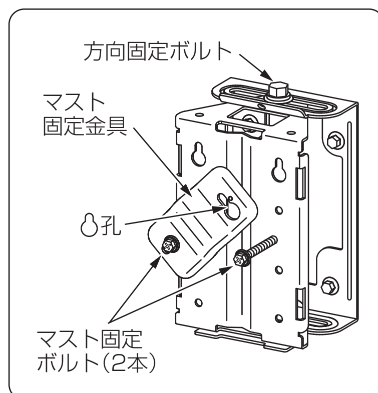
ベランダ・マスト設置

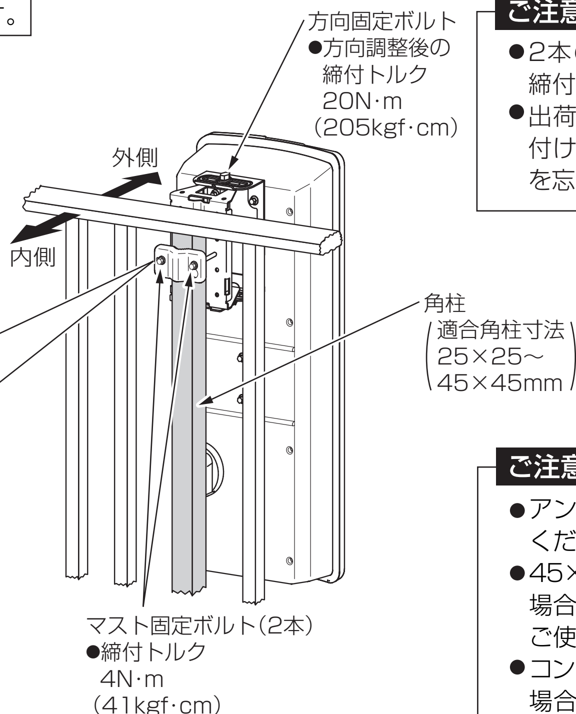
水平偏波を受信する場合（垂直偏波を受信するときも、金具の向き、取付方法は同じです）

ベランダに設置

取付けには付属のレンチが必要です。

①マスト固定ボルト（2本）をゆるめ、マスト固定金具の孔をマスト固定ボルトから外します。
②角柱に通して、マスト固定金具の孔をマスト固定ボルトの頭にはめ、マスト固定ボルト（2本）を付属のレンチで均等に締付けます。

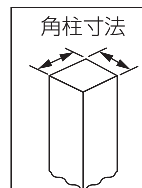




アンテナの設置が完了したら、p.10「**アンテナの方向を調整する**」を行なってください。

ご注意

- 2本のマスト固定ボルトは均等に締付けてください。
- 出荷時は、方向固定ボルトは強く締付けてありません。方向固定ボルトを忘れずに締付けてください。



ご注意

- アンテナは太い角柱部分に取付けてください。
- 45×45mmを超える角柱に取付ける場合、別売のサイドベース**SBM35**をご使用ください。
- コンクリートフェンスなどに取付ける場合、別売のコンクリートフェンスベース**KBM45N**をご使用ください。
（p.12「**アンテナ取付金具(別売)設置例**」をご覧ください。）

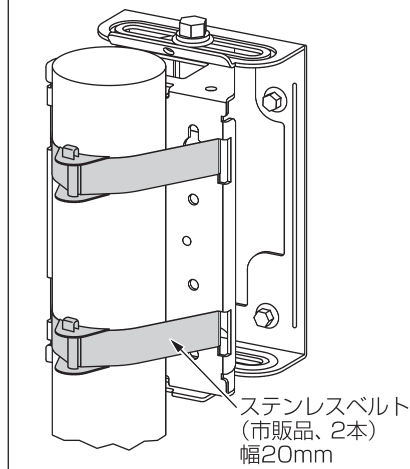
マストに設置

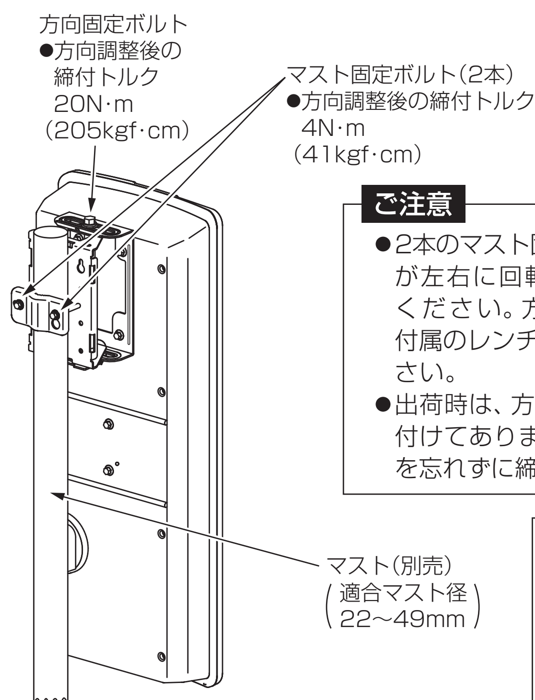
取付けには付属のレンチが必要です。

①マスト固定ボルト（2本）をゆるめ、マスト固定金具の孔をマスト固定ボルトから外します。
②マストを通して、マスト固定金具の孔をマスト固定ボルトの頭にはめ、マスト固定ボルト（2本）を付属のレンチで均等に締付けます。

ステンレスベルトでの取付け

直径が49mmを超えるマストに取付ける場合、マスト固定金具を取外して市販のステンレスベルト（2本）を使用してくだい。

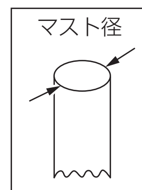




アンテナの設置が完了したら、p.8「**ケーブルにF型コネクターを取付ける**」、「**アンテナにケーブルを接続する**」を行なってください。

ご注意

- 2本のマスト固定ボルトは、アンテナが左右に回転する程度に締付けてください。方向調整が完了したら、付属のレンチで均等に締付けてください。
- 出荷時は、方向固定ボルトは強く締付けてありません。方向固定ボルトを忘れずに締付けてください。



ご注意

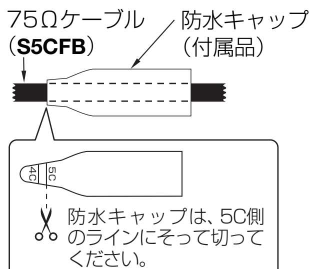
- マストは垂直になるように建ててください。
- マストは強風でも倒れないように、しっかりと建ててください。

ケーブルにF型コネクターを取付ける

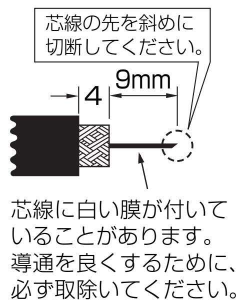
F型コネクターは、確実に取付けないと、受信不良の原因となります。説明をよく読んで取付けてください。

- 接触不良やショートを防ぐため、コネクターはていねいに取付けてください。
- 75Ωケーブルは5Cケーブルまたは4Cケーブルをお使いください。
- 付属のF型コネクターは5Cケーブル用です。4Cケーブルの場合、別売の4Cケーブル用F型コネクターをお使いください。

①ケーブルを付属の防水キャップに通してください。

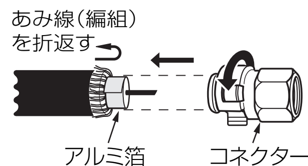


②ケーブルの加工
(加工寸法は原寸大です)



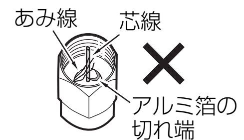
③コネクターの取付け

1. あみ線(編組)を折返してください。
2. コネクターの内側にアルミ箔が入るように、アルミ箔の巻付けられている方向にコネクターを回しながら、ていねいに押し込んでください。



あみ線・アルミ箔のショートに注意

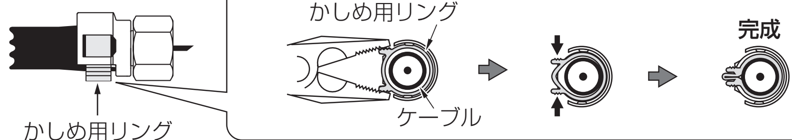
あみ線(編組)やアルミ箔の切れ端は、取除いてください。芯線に接触するとショート状態になり、テレビを見られなくなります。



---

④かしめ用リングをペンチで圧着

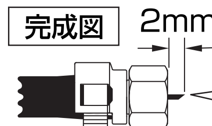
コネクターが抜けないように、しっかりと圧着してください。



芯線の長さは、必ず2mmにしてください。

芯線が長すぎると、コネクターが破損して機器が故障します。

完成図



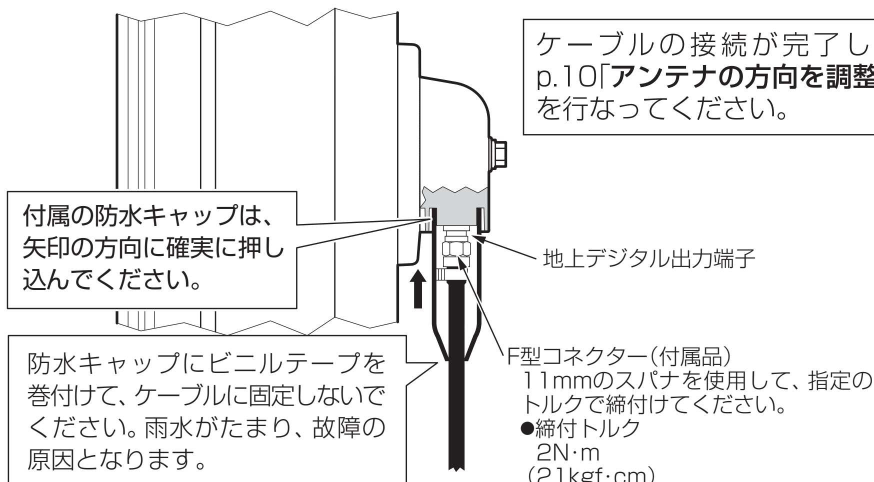
芯線は、まっすぐにしてください。

芯線が曲がっていると、ショートして機器が故障します。



アンテナにケーブルを接続する

- F型コネクターを、アンテナの地上デジタル出力端子へしっかりと接続し、付属の防水キャップを矢印の方向へ確実に押し込んでください。
- ケーブルは、コネクターや防水キャップに無理な力がかからないように配線してください。



ケーブルの接続が完了したら、p.10「**アンテナの方向を調整する**」を行なってください。

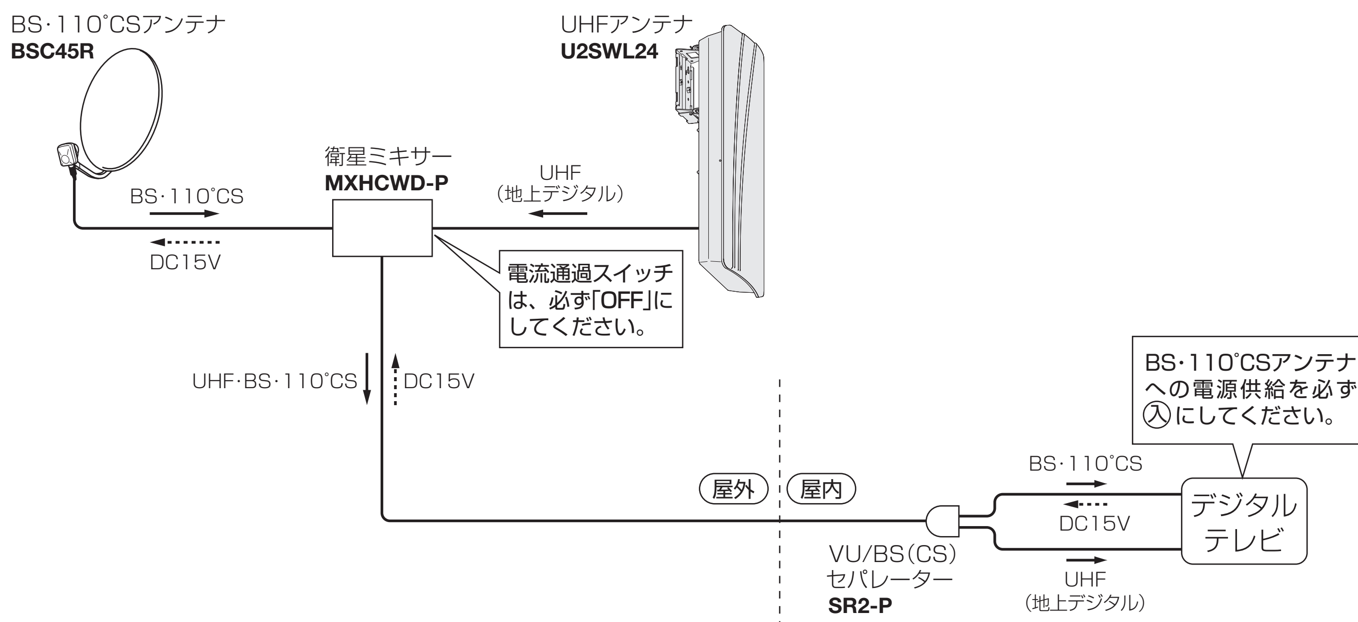
アンテナを横に向けるとケーブルが接続しやすくなります。p.10「**アンテナの方向を調整する**」をご覧ください。



使用例

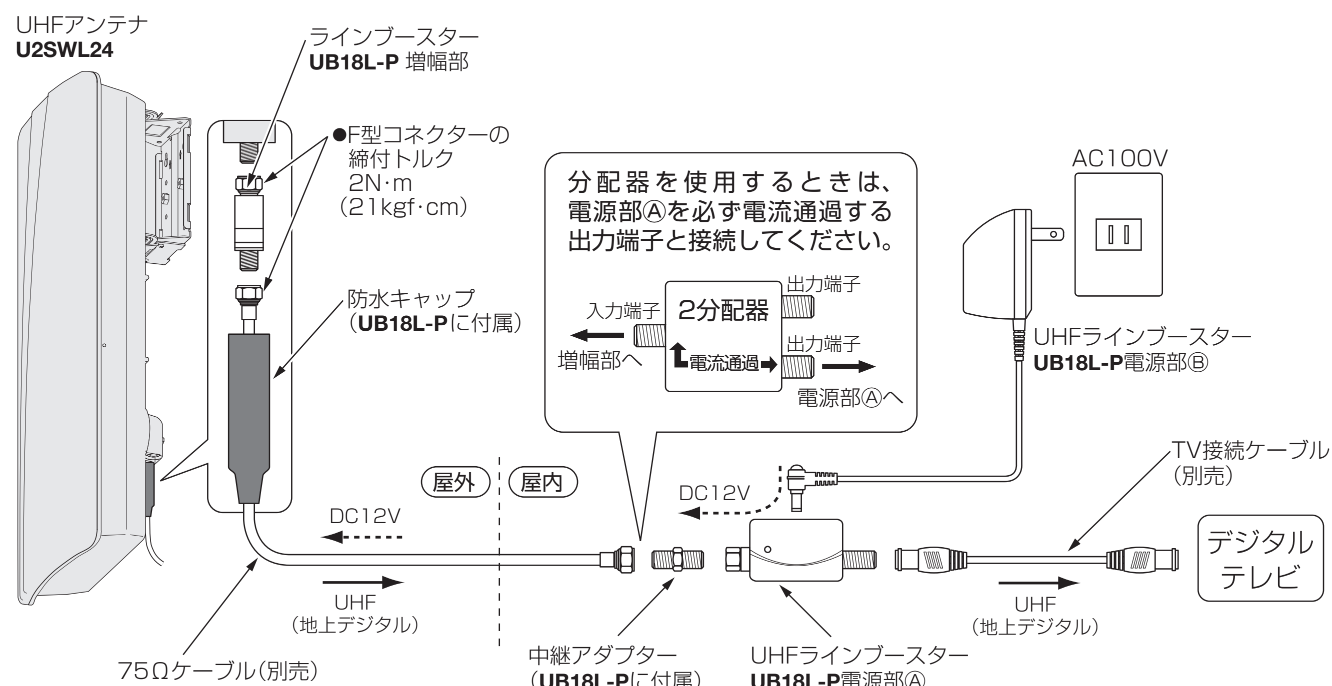
BS･110˚CSアンテナと混合する場合

別売の衛星ミキサー **MXHCWD-P**を使用して、地上デジタル放送とBS･110˚CSデジタル放送を1本のケーブルで引き込むことができます。



UHFラインブースターを使用する場合

アンテナとテレビを短いケーブルで接続すると地上デジタル放送を見られるが、ケーブルを長くすると映らなくなる場合、別売のUHFラインブースター **UB18L-P**を使用します。



アンテナの方向を調整する

取付けには付属のレンチが必要です。

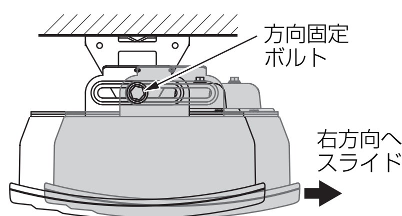
1. アンテナの方向を変える

方向の変え方

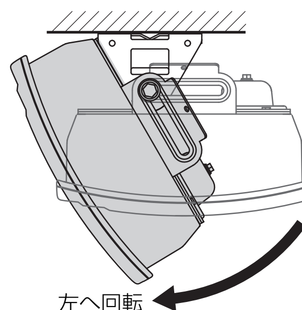
左方向へ向けるときの例(アンテナを上から見た図)

マスト(円柱)やサイドベースに取付けたときは、マスト固定ボルトをゆるめて方向を変えることをおすすめします。
(p.11「**4.アンテナの固定**」参照)

①**アンテナの移動**
方向固定ボルトをゆるめ、アンテナ本体を方向固定ボルトに当たって止まるまで**右方向**へスライドさせます。

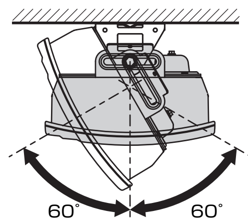


②**アンテナの回転**
アンテナ本体を左方向へ回転させます。

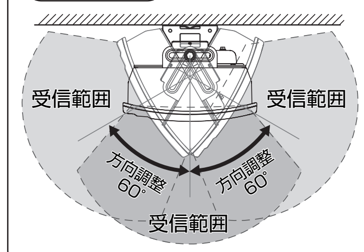


アンテナの可動範囲

水平偏波受信のとき：左右60°

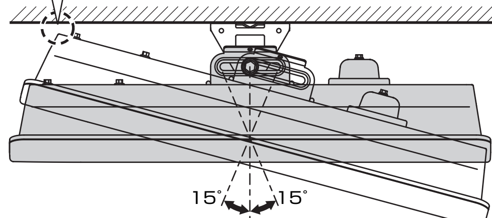


受信範囲　水平偏波の例



壁面に当たらないように注意してください。

垂直偏波受信のとき：左右15°

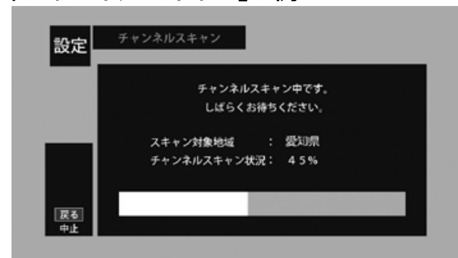


壁面設置時にアンテナが送信塔に向けられない場合、別売のサイドベース**SBM35**を使用するか、または、マストに設置してください。

2. 受信チャンネルの設定

初めて地上デジタル放送を受信する場合、アンテナを送信塔の方向におおよそ向けてから、デジタルテレビの「チャンネルスキャン(サーチ)」を行なって、受信チャンネルを設定します。

「チャンネルスキャン」の例



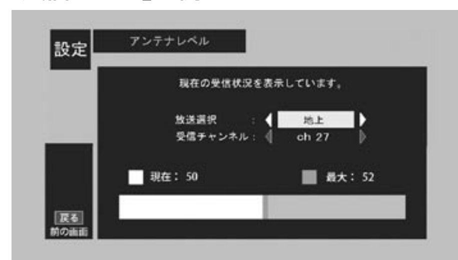
ご注意

画面の表示は一例で、使用するデジタルテレビにより異なります。
詳しくは、ご使用の機器の取扱説明書をご覧ください。

3. 方向調整

デジタルテレビの「受信レベル(アンテナレベル)」の値が最大になるように、アンテナを左右に移動･回転させてアンテナの向きを調整してください。
(全チャンネルが映ることを確認してください)

「受信レベル」の例



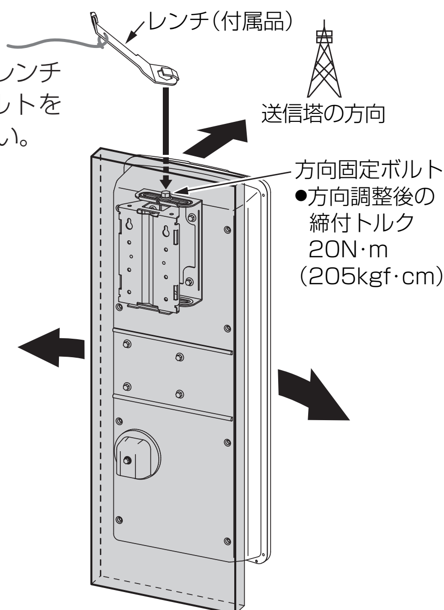
ご注意

- 画面の表示は一例で、使用するデジタルテレビにより異なります。
  詳しくは、ご使用の機器の取扱説明書をご覧ください。
- より正確な方向調整のために、別売のレベルチェッカーを使用されることをおすすめします。

4. アンテナの固定

壁面設置

調整後、付属のレンチで方向固定ボルトを締付けてください。



マスト設置

調整後、付属のレンチでマスト固定ボルト（2本）を均等に締付けてください。

方向固定ボルト
●締付トルク
20N･m
（205kgf･cm）



送信塔の方向

マスト固定ボルト
（2本）
●方向調整後の締付トルク
4N･m
（41kgf･cm）

ご注意

出荷時は、方向固定ボルトは強く締付けてありません。方向固定ボルトを忘れずに締付けてください。

ご注意

- 電波の弱い場所では、受信できません。また、強･中電界地域でも、障害物があり見通しの悪い場所では、受信できないことがあります。
- 送信電力の低い特定のチャンネルだけが映らないこともありますから、全チャンネルがきれいに映るように方向を調整してください。
- 受信レベル（アンテナレベル）は、アンテナの高さでも変わります。高い場所に設置すると、受信レベルが大きくなることがあります。
- 設置後の建物等の環境変化により受信できなくなる場合があります。

テレビがきれいに見られないときは

症状	原因	処置
画像が出ない 受信できません。 アンテナの設定や調整を 確認してください。 メッセージは、一例です。	コネクターの取付け･ケーブルの接続方法が間違っている。	●コネクターが正しくケーブルに取付けられているか確認してください。 ●ケーブルが、地上デジタル出力端子に正しく接続されているか確認してください。
	信号が来ていない。	●各ケーブルが、断線またはショートしていないか確認してください。 ●F型コネクターの芯線が短かったり、芯線にあみ線（編組）やアルミ箔が触れたりしていないか確認してください。
画像にモザイク状のノイズが出ている	受信レベルが低い。	●症状が消えるように、アンテナの方向を調整してください。 ●アンテナの設置場所や高さを変えて、送信塔からの電波が受信できるようにしてください。
		●アンテナとテレビを短いケーブルで接続すると地上デジタル放送を見られるが、ケーブルを長くするとモザイク状のノイズが出る場合、別売のUHFラインブースター **UB18L-P**を**U2SWL24**の地上デジタル出力端子に接続してください。（p.9「**UHFラインブースターを使用する場合**」をご覧ください）

規格表、性能、アンテナ取付金具(別売)設置例

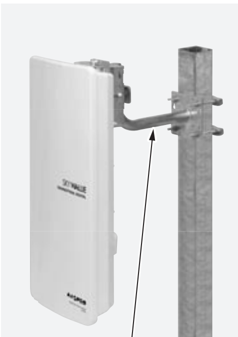
規格表 Specifications

MASPRO

項目 Items	規格
受信チャンネル Reception Channels	ch.13〜62
アンテナ利得(感度) Antenna Gain	8〜9.7dB
VSWR Voltage Standing Wave Ratio	2.4以下
前後比 Front to Back Ratio	16〜25dB
半値角度 Half Power Beam Width	68〜80°
インピーダンス Impedance	75Ω(F型コネクター)
使用温度範囲 Temperature Range	⊖20〜⊕40℃
適合マスト径 Adaptable Mast Diameter	マスト:φ22〜49mm 角柱　:25×25〜45×45mm
外観寸法 Dimensions	670(H)×270(W)×193(D)mm(壁面取付時) 670(H)×270(W)×251(D)mm(φ49mmマスト取付時)
質量(重量) Weight	約4.2kg

アンテナ取付金具(別売)設置例

●角柱(45×45〜80×80mm)



サイドベース
SBM35
(別売)

●フェンス(厚さ100〜200mm)

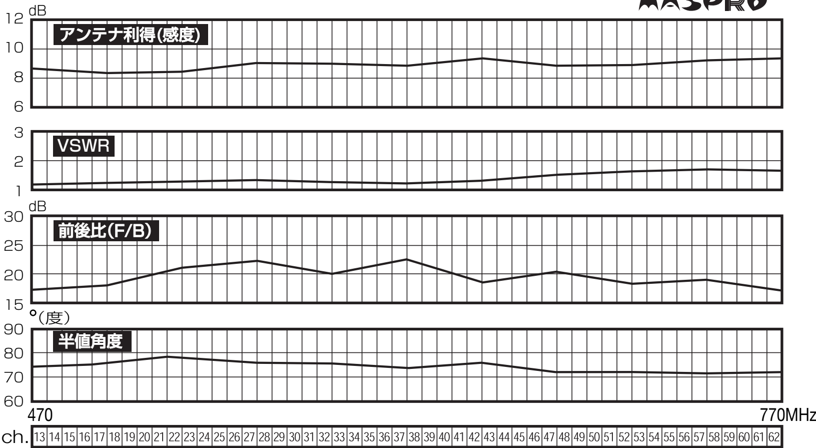


コンクリートフェンスベース
KBM45N
(別売)

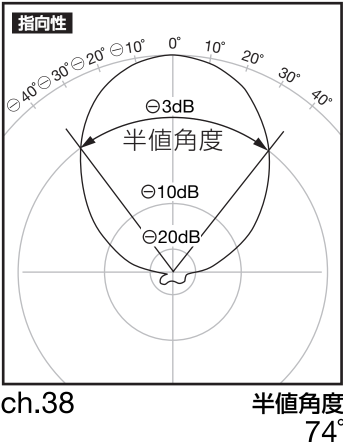
性能

すべてのグラフは、マスプロ独自の全自動アンテナ測定装置が描いた一例です。

MASPRO



MASPRO



ch.38　　**半値角度** 74°

マスプロの規格表・性能表に絶対うそはありません。保証します。

UHFアンテナ保証書　MODEL U2SWL24

お客様ご住所
TEL.　　　—　　　—
★お客様お名前　　　　様
★保証期間(販売店記入欄) お買上げ日　　年　　月　　日から1年間
★販売店名・住所(販売店記入欄) TEL.　　　—　　　—

★印の欄にご記入のない場合、または、販売店の発行した、お買上げ日、販売店名を確認できる証明書(領収書など)のない場合は、無効になります。
本書は再発行いたしませんから、紛失しないよう大切に保管してください。

無料修理規定　　**持込修理**

○ 取扱説明書などの注意にしたがった正常なご使用状態で、保証期間中に故障した場合、お買上げの販売店に本製品と本書をご持参、ご提示のうえ、修理をご依頼ください。無料修理させていただきます。
○ 次のような場合、保証期間中でも有料修理になりますから、ご注意ください。
- 本書のご提示がない場合。
- 本書に、お客様お名前、お買上げ日、販売店名の記入のない場合、または、販売店の発行した、お買上げ日、販売店名を確認できる証明書(領収書など)のない場合。
- 本書の字句を書換えられた場合。
- 火災、地震、風水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、ガス害、異常電圧などによる故障および損傷。
- ご使用上の誤りによる故障および損傷。
- 不当な修理や改造による故障および損傷。
- お買上げ後の取付場所の移設、輸送、落下などによる故障および損傷。
- 他の機器などにより誘発する故障および損傷。
- 一般家庭用以外(例えば業務用や車両・船舶への搭載など)に使用されたときの故障および損傷。
- 設置工事、施工の不備によって生じた故障および損傷。

○ 本書は日本国内に限り有効です。(This warranty is valid only in Japan.)

本書に明示した期間および条件で、無料修理をお約束します。保証期間経過後の修理については、お買上げの販売店にお問合わせください。修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により、有料修理いたします。

═マスプロ電工株式会社═
本社 〒470-0194(本社専用番号)愛知県日進市浅田町上納80
営業推進部 TEL名古屋(052)802-2244

2K56-537

製品向上のため 仕様・外観は変更することがあります。

═マスプロ電工═

本社 〒470-0194(本社専用番号)愛知県日進市浅田町上納80
技術相談
0570-091119
ナビダイヤル® 固定電話からは全国一律料金でご利用いただけます
IP·PHS(ナビダイヤルが利用できない)電話からは **052-805-3366**
受付時間 9〜12時、13〜17時(土・日・祝日、当社休業日を除く)
インターネットホームページ www.maspro.co.jp
技術相談以外は、お近くの支店・営業所にお問合わせください。

支店・営業所

首都圏(シ)(03)3499-5632
西日本(シ)(082)230-2359
中日本(シ)(06)6632-1144
北日本(シ)(022)786-5062

福　岡(支)(092)551-1711
沖　縄　(098)854-2768
鹿児島　(099)812-1200
宮　崎　(0985)25-3877
熊　本　(096)381-7626
長　崎　(095)864-6001
北九州　(093)941-4026

下　関　(083)255-1130
広　島(支)(082)230-2351
松　江　(0852)21-5341
岡　山　(086)252-5800
松　山　(089)973-5656
高　知　(088)882-0991
高　松　(087)865-3666
大　阪(支)(06)6635-2222
姫　路　(079)234-6669
京　都　(075)646-3800
名古屋(支)(052)802-2233
津　(059)234-0261

岐　阜　(058)275-0805
豊　橋　(0532)33-1500
静　岡　(054)283-2220
松　本　(0263)57-4625
福　井　(0776)23-8153
金　沢　(076)249-5301
東　京(支)(03)3409-5505
新　潟　(025)287-3155
横　浜　(045)784-1422
八王子　(042)637-1699
千　葉　(043)232-5335
さいたま　(048)663-8000
前　橋　(027)263-3767

水　戸　(029)248-3870
宇都宮　(028)636-1210
仙　台(支)(022)786-5060
郡　山　(024)952-0095
盛　岡　(019)641-1500
秋　田　(018)862-7523
青　森　(017)742-4227
札　幌　(011)782-0711
釧　路　(0154)23-8466
旭　川　(0166)25-3111

(シ):システム営業グループ

N·23-5537-2T
MAR., 2012